

平成 18 年度生物生産インターンシップ報告書

短期大学部・生物生産技術学科

実習先

茨城県常総市大輪町 872 有限会社 天王原養鶏園

実習期間

平成 19 年 2 月 18 日(日)～27 日(火)

実習内容

2 月 18 日(日)雨のち晴れ

午前：集卵(16・12 号棟)・集卵した卵をコンテナに詰めて重さを量る・個数を数える・重量、個数とキズ、ザラ、ジャンボ卵、液卵の個数を黒板に記録する・積んだコンテナを倉庫に入れる(コンテナは 5 段で一セット)

午後：集卵(1 号棟)・集卵した卵をコンテナに詰めて重さを量る・個数を数える・重量、個数とキズ、ザラ、ジャンボ卵、液卵の個数を黒板に記録する・積んだコンテナを倉庫に入れる・水どい掃除・穴にゴミを捨てる・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入

2 月 19 日(月)晴れ

午前：集卵(16・12 号棟)…集卵は、毎日同じ作業をした。

午後：収卵(1・2 号棟)・作業場の掃除・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入

2 月 20 日(火)曇りのち雨

午前：集卵(16・12 号棟)

午後：集卵(1 棟号)・水どい掃除(1～4 棟) 一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る

2 月 21 日(水)晴れ

午前：集卵(16・12 号棟)

午後：集卵(12・1・2 号棟)・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る

2 月 22 日(木)晴れ

午前：集卵(12・16 号棟)

午後：集卵(1・2 号棟)・餌ならし(9 号棟)・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る

2 月 23 日(金)雨

午前：G P センター見学・集卵(16 号棟)

午後：集卵(3 号棟)・電子天秤でジャンボ卵を重さ別(76 g 以上・82 g 以上・90 以上)に分類廃鶏の様子を見学・ケージのダニ・ホコリ掃除(1 号棟)・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る・消毒槽交換

2 月 24 日(土)晴れ

午前：集卵(16・12 号棟)

午後：集卵(1・11 号棟)・作業場の掃除・出荷伝票記入・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る

2 月 25 日(日)晴れ

午前：集卵(16・10号棟)

午後：集卵(11・12号棟)・液卵をドリルで攪拌する・網でこす・冷蔵庫に入れ凍卵にする・作業場の掃除・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る

2月26日(月)晴れ

午前：集卵(16・12号棟)

午後：集卵(11・10号棟)・棟の間のゴミ拾い・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る

2月27日(火)晴れ

午前：集卵(16・12号棟)・

午後：集卵(11・1号棟)・液卵をドリルで攪拌する・網でこす・凍卵にする・インパルシール機を使って袋を熱で溶かし封をする・結んでラベルを貼る・一日の集卵個数、総重量、コンテナ数などを用紙に記入・明日の集卵記録用紙を書いて机に貼る



作業風景写真 水どい掃除の様子

実習効果

実習して自分自身のかわったことは、一つは鶏が大好きになり集卵作業が好きになったことである。また、お借りしている部屋の掃除・洗濯など、一人でできるようになったことである。養鶏の仕事を少しだけ手伝わせていただいて、現場の話を聞いて、改めて養鶏という産業がとても大切なものだと気づかされた。

感想

毎日の生活をお世話になった古平さんご夫婦から様々な貴重なお話を伺いした。最も心に残ったのは、鳥インフルエンザの被害についてである。天王原養鶏園に導入された鶏の一部に抗体のあるのが見つかり、そのため他の棟の鶏も含めて全淘汰しなければならなくなった。古平さん達は殺処分を行う最後の日まで、鶏達にいつも通り集卵し、給餌をしてあげたそうだ。私はこの話を聞いてとても感動し、古平さんや従業員の方々の鶏達を思う心を感じた。古平さんにとって鶏はただの家畜ではなく、大切な存在なんだと思った。そしてそんな風に家畜を大切にする考え方のできる人に、私もなりたいたいと思った。この実習を通して、養鶏の農業や鶏について学んだだけでなく、家畜を大切にする心を学ばせていただいたと思う。